

超少女REIKO (1991)

REIKO

メディア 映画

ジャンル サスペンス 特撮

製作国 日本

色彩 Color

時間 100分

初公開日 1991/11/16

【解説】

学園祭の近づいたとある高校で、怪奇現象が多発。「安全にしてかつ通常なる学園の復活を！」と立ち上がった6人の有志たち、生徒会長・緒方志郎、副会長・内藤由美、剣道部キャプテン・高品雄二、秀才・新城高史、女番長・万田梨花、演劇部・九藤玲子。彼らは若き教師山川を顧問にESP研究会を結成し、超常現象に挑む決意をする。ポルターガイスト現象、鬼火などに遭遇し、メンバーが危機に陥った時にそれを救ったのは九藤玲子。彼女は霊媒師の祖母から“力の血”を受け継いだ超能力少女だった。彼らの前についに姿を現した少女の亡霊。他校の制服を着た彼女がなぜ出現するのかを彼らは降霊会を行うことで知ろうとする。反対していた玲子だったが、“亡霊の心を救う”という目的のためについに降霊会は行われた。彼女の名前は“しみずまちこ”。死因は投身自殺という点は判明したものの、玲子は悪霊に取り憑かれてしまう。祖母・光霊の決死の除霊により玲子は助かるものの、光霊は屋上から転落し、病院に担ぎ込まれた。謎を追求する彼らの手により、“しみずまちこ”は遠く離れた温羅高校の生徒で、“あなたとの思い出を胸に秘めて Jへ まちこ”との書き置きとともに失踪していたことがわかった。その書き置きに書かれたJとは、玲子の憧れの先輩・渡辺譲治のことだった。彼は転校生で、“しみずまちこ”は、恋の相手を慕ってこの学園に出没していたのだ。謎は解決して一件落着かと思いきや、学園祭の真っ只中またも超常現象が勃発する。“しみずまちこ”は、操られていたのだ！憎むべき真の敵……その名は“深尾麗子”！！かくして、REIKO対REIKOのサイキックバトルの火蓋はきって落とされた……。果たして勝利は？

基本を押さえた人物設定と、“学園祭”という一大イベントに向かって盛り上がっていく脚本が見事なマッチングを見せている佳作。第13回城戸賞・準入賞の脚本を新鋭・大河原孝夫が自ら監督し製作。観月ありさが独特のムードで超能力少女を好演し、画面を引き締めた。“しみずまちこ”役の井上麻美は、PCエンジンのゲームソフト「みつばち学園」でグランプリに選ばれたアイドルである。

【クレジット】

監督 大河原孝夫

製作 富山省吾

脚本 大河原孝夫

撮影 山田健一

特殊効果 浅田英一

美術 鈴木儀雄

編集 長田千鶴子

音楽 朝川朋之

主題歌 観月ありさ

「風の中で」

出演 観月ありさ

九藤玲子

大沢健

緒方志郎

島崎和歌子

内藤由美

長澤ユキオ

高品雄二

山田久子		万田梨花
磯崎洋介		新城高史
杉原貴志		渡辺譲治
筒井道隆		朝倉
佐倉しおり		深尾麗子
佐藤B作	Sato B Saku	九藤俊夫
菅井きん		九藤光麗
小泉今日子		藤沢
佐藤浩市		山川